



簡易取扱説明書

デジタルボイスレコーダー 通話録音装置

VR-448PRI

目次

| | |
|-------------------|----|
| 検索・再生..... | 2 |
| 1 手順 | 2 |
| 2 検索 | 3 |
| 2-1 検索の概要 | 3 |
| 2-2 検索条件の設定 | 4 |
| 3 再生 | 6 |
| 3-1 再生画面 | 6 |
| 3-2 再生操作 | 6 |
| 4 同時モニター | 8 |
| バックアップ | 9 |
| 1 バックアップ概要 | 9 |
| 2 DVD-RAM | 9 |
| 3 手動バックアップ | 12 |
| 4 ファイルの修復 | 13 |
| 5 アラーム表示 | 14 |

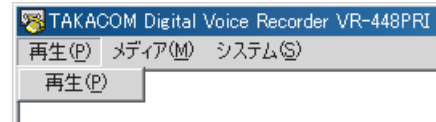
検索・再生

1 手順

録音ファイルを検索し、内容を再生します。

1

- ① メニューバーを [再生] → [再生] の順にクリックします。
 - ・バックアップ中のときは、「バックアップ」画面が開きます。「■バックアップ中の再生 (P.2)」をご参照ください。
 - ・パスワードが設定されているときは「パスワード」画面が開きます。手順2へ進みます。
 - ・パスワードが設定されていないときは、「検索」画面が開きます。手順3へ進みます。



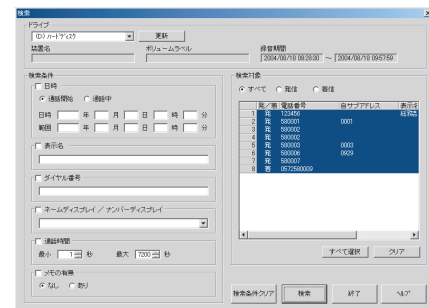
2

- ① IDとパスワードを入れ、[OK] ボタンをクリックします。
 - ・「検索」画面が開きます。



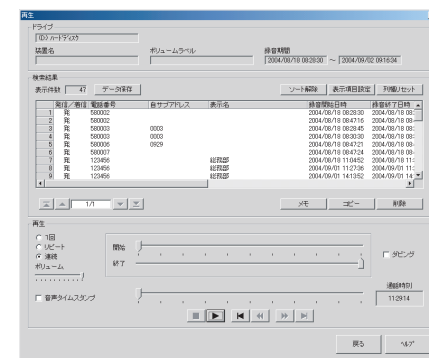
3

- ① 検索条件を入力します。
 - ・「2 検索」(P.3) をご参照ください。
- ② [検索] ボタンをクリックします。
 - ・「再生」画面が開きます。



4

- ① 表示された検索結果から再生する録音ファイルを選択します。
 - ・「3 再生」(P.6) をご参照ください。
- ② 再生操作ボタンを操作して録音を再生します。



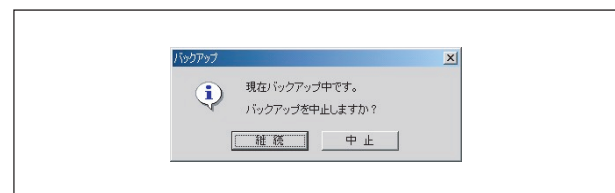
■再生を終了する

- 1 「再生」画面で [戻る] ボタンをクリックします。
 - ・「検索」画面に戻ります。
- 2 「検索」画面で [終了] ボタンをクリックします。
 - ・基本画面に戻ります。

■バックアップ中の再生

バックアップ中には基本画面のステータスバーに「バックアップ中」と表示しています。

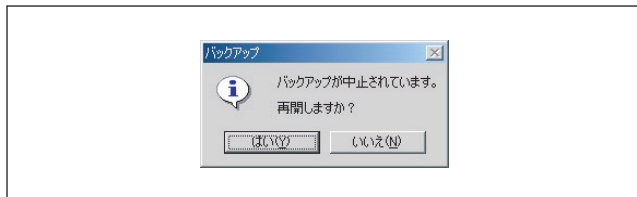
- 1 バックアップ中に再生の操作をすると次のメッセージボックスが開きます。



2 バックアップを中止して再生するときは [中止] ボタンをクリックします。

- ・ 2 ページの手順3に進みます。
- ・ [継続] をクリックすると再生をせずに基本画面に戻ります。バックアップはそのまま継続します。

3 再生を終了すると、バックアップの方法が「定時」または「間隔」のときはバックアップの継続を選択する画面が開きます。



- ・ [はい] ボタンをクリックすると基本画面に戻り、バックアップを再開します。
- ・ [いいえ] ボタンをクリックするとバックアップは再開せず基本画面に戻ります。まだバックアップされていない録音データは次回の「定時」または「間隔」で指定したときにバックアップされます。

2 検索

条件を指定して録音ファイルを検索します。

2-1 検索の概要

(1) 検索対象ドライブを変更することができます

(2) 検索対象ドライブの情報を表示します

(3) 検索条件

(4) 表示名

(5) ダイアル番号

(6) ホームディスプレイ / ナンバーディスプレイ

(7) 通話時間

(8) ヘルプを表示します

検索条件を初期状態に戻します

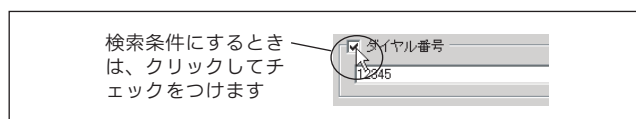
設定した条件で通話を検索し、再生画面を表示します

基本画面に戻ります

| 発着 | 電話番号 | 自サブアドレス | 表示名 |
|----|--------------|---------|-----|
| 1 | 発 123456 | | 総務部 |
| 2 | 発 580001 | 0001 | |
| 3 | 発 580002 | | |
| 4 | 発 580002 | | |
| 5 | 発 580003 | 0003 | |
| 6 | 発 580006 | 0929 | |
| 7 | 発 580007 | | |
| 8 | 着 0572680009 | | |

- ・ 条件を指定して [検索] ボタンをクリックします。
- ・ 図中のカッコつき数字、「(3)」などは「2-2 検索条件の設定」の同じ番号の項に説明があります。
- ・ 「検索条件」ボックスの項目を検索条件にするときは、項目名の前のボックスをマウスでクリックしてチェック「✓」

をつけます。条件が指定されていてもチェックがついていないと検索条件になりません。

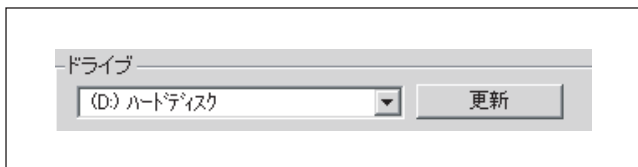


2-2 検索条件の設定

(1) ドライブ

通常は変更の必要はありません。

●変更するとき



- ① [▼] ボタンをクリックします。
- ② 表示された一覧から対象のドライブをクリックします。

●ドライブの種別

- ・A: フロッピーディスク .. フロッピーディスクにコピーした内容を再生するとき。
- ・D: ハードディスク 本装置の録音はこのドライブに保存されます。
- ・E: DVD-RAM ディスク .. バックアップファイルが保存されています。DVD-RAM を2台搭載している場合、「F:」ドライブが2台目のDVD-RAMディスクになります。ディスクを交換したときは、必ず「更新」ボタンをクリックしてください。

●ドライブ情報

選択したメディアの情報を表示します。

- ・装置名 該当のメディアを録音した装置名を表示します。
- ・ボリュームラベル メディア作成などのときにつけた名前が表示されます。
- ・録音期間 保存されている録音の、最古と最新の録音終了日時が「年月日時分秒」で表示されます。

ワンポイント

●DVD-RAM ディスクの交換

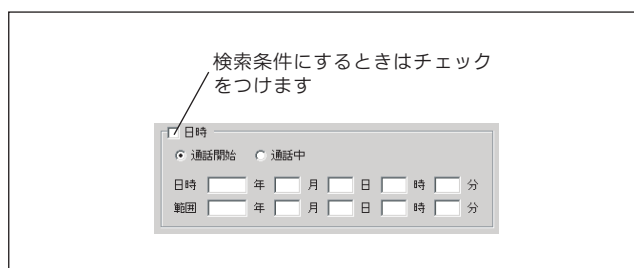
- ① DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押し DVD-RAM ディスクを取り出します。
 - ・DVD-RAM ランプが点灯または点滅中は、取り出すことができません。消灯するまでお待ちください。
- ② DVD-RAM ディスクを交換します。
- ③ 「イジェクト」ボタンを押し、トレイを閉じます。
- ④ DVD-RAM ランプが消灯したら、画面の「更新」ボタンをクリックします。

(2) 日時

通話の日時を検索条件にします。「年」は西暦4桁、「時」は24時間制で指定します。

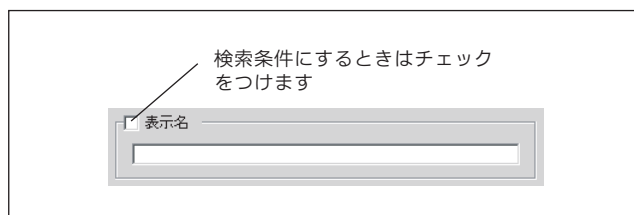
年月日時分を指定できますが、その一部、たとえば年月だけといった指定もできます。

- ・「通話開始」を選択すると、通話開始の年月日時分（範囲）が対象になります。
- ・「通話中」を選択すると、指定した年月日時分（範囲）に通話をして録音が対象になります。通話開始時期は条件になりません。
- ・「範囲」に年月日時分を指定すると、「日時」を開始ポイント「範囲」を終了ポイントとする範囲の指定になります。



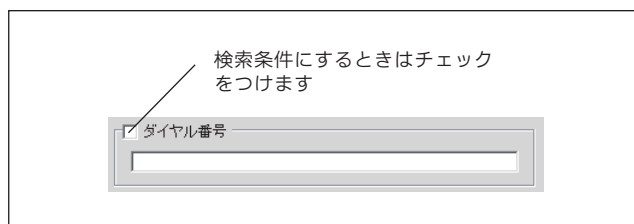
(3) 表示名

契約者回線番号、ダイヤルイン番号やサブアドレスを登録するときに指定した「表示名」を検索の条件にします。入力した文字列を含む（完全に一致しなくてもよい）録音を検索します。



(4) ダイヤル番号

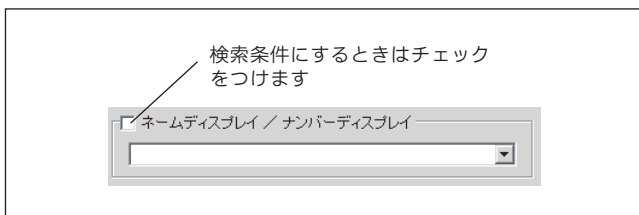
発信時にダイヤルした番号を検索条件にします。入力した数字を含む（完全に一致しなくてもよい）録音を検索します。



(5) ネームディスプレイ/ナンバーディスプレイ

ネームディスプレイ/ナンバーディスプレイ情報を検索条件にします。入力した番号/文字を含む録音を検索します。

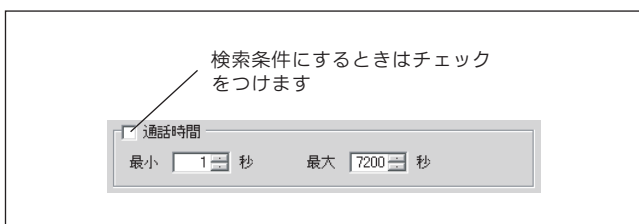
- ・「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」を検索対象にするときは、「▼」ボタンをクリックし表示された一覧から選択します。



(6) 通話時間

通話時間の範囲を指定します。

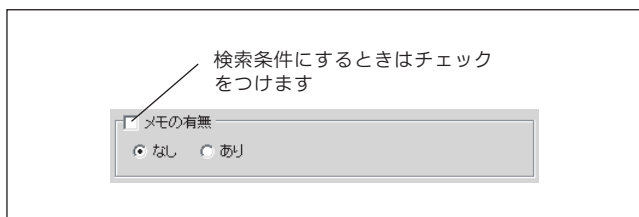
- ・指定の単位は秒です。
- ・最長 7,200 秒 (2 時間) まで指定できます。
- ・数字はキーボードから入れるほかに、[▼] または [▲] ボタンのクリックで増減することができます



(7) メモの有無

メモの有無を検索条件にします。

- ・メモは再生画面で付加することができます。「3 再生 3-2 再生操作 (13) メモ」(P.7) をご参照ください。



(8) 検索対象

ダイヤルイン番号、サブアドレスを検索の対象にすることができます。初期状態はすべての番号が選択されています。反転している行が「選択」された番号です。下の例では、すべての番号が選択されています。



- ・ [クリア] ボタンをクリックすると、すべての選択がクリアされます。
- ・ [すべて選択] ボタンをクリックすると、すべての番号が選択されます。
- ・ 該当の行をクリックすると、その行だけが選択されます。
- ・ キーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、不連続の複数行が選択されます。
- ・ 1 行を選択後、別の行をキーボードの [Shift] キーを押しながらクリックすると、連続した複数行が選択されます。

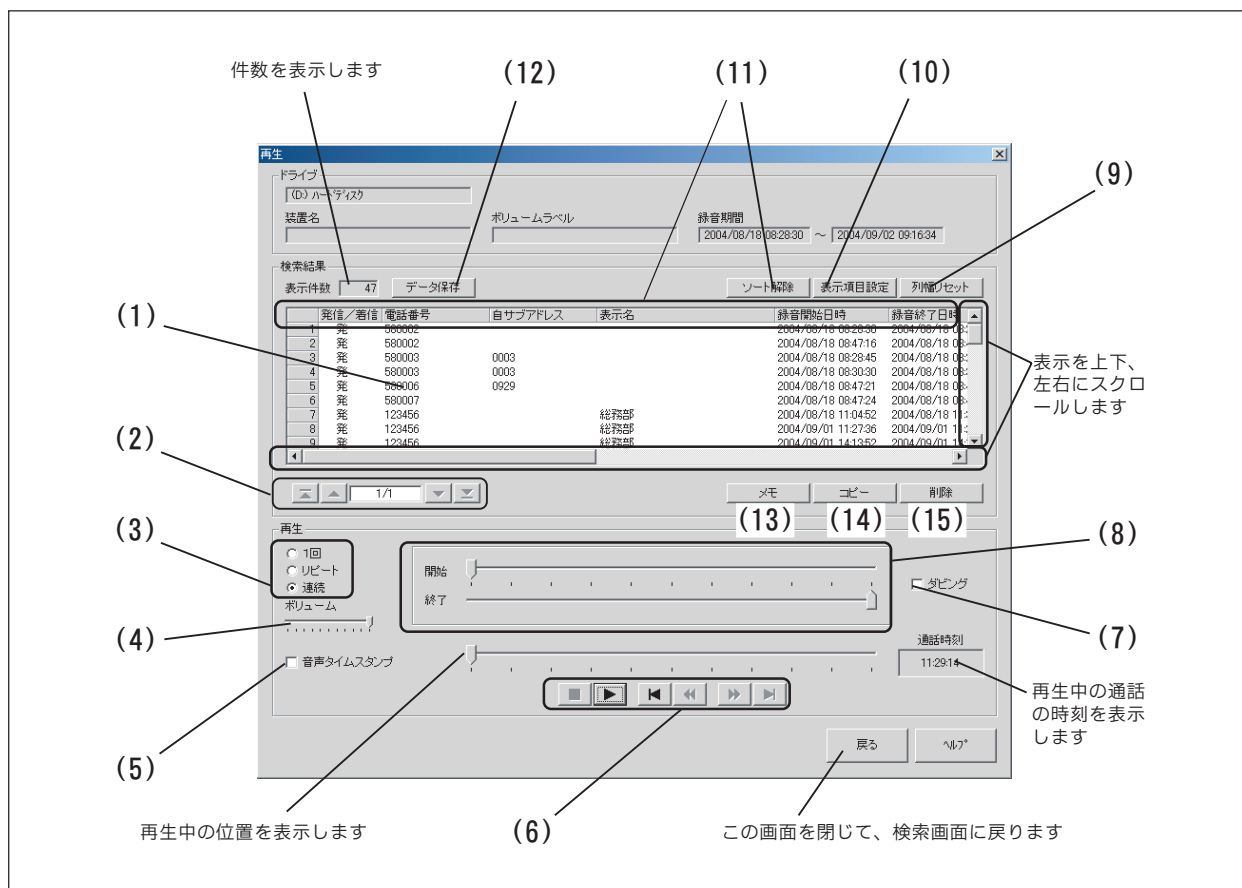
発信呼、着信呼を指定することもできます。

- ・ 「すべて」を選択すると発着両方を検索対象にします。
- ・ 「発信」または「着信」を選択すると発信呼または着信呼だけを検索対象にします。

3 再生

検索が終わると再生画面が開きます。

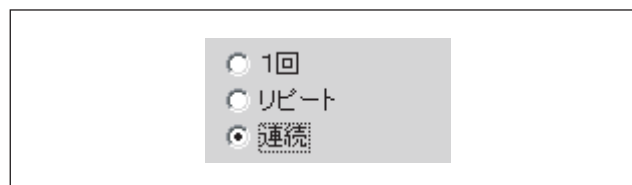
3-1 再生画面



- ・「(1)」のボックスに検索結果が表示されます。目的の録音を選択し「(6)」のボタンを操作して内容を聞きます。
- ・図中のカッコつき数字、「(3)」などは「3-2 再生操作」の同じ番号の項に説明があります。

(3) 再生方式

3種類の中から選択します。



- ・「1回」…………… 選択した録音を1回再生し、終了します。
- ・「リピート」……… 選択した録音を繰り返し再生します。[停止] ボタンをクリックすると停止します。「(8) 再生範囲指定」と併用すると指定した範囲の内容を繰り返し再生することができます。
- ・「連続」…………… 選択した録音から順に再生します。[停止] ボタンをクリックするか、リストの最後まで再生すると停止します。

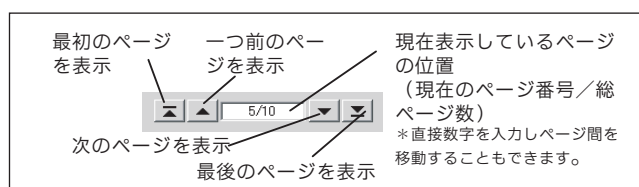
3-2 再生操作

(1) 検索結果表示

この一覧表の中から目的の録音を探し、クリックして選択します。選択した録音は、反転表示になります。表示は、上下、左右にスクロールすることができます。

(2) ページ数

1ページあたり500件を表示します。検索結果が501件以上あるときは、複数のページになります。ページ間を移動するときは、ボタンを操作します。



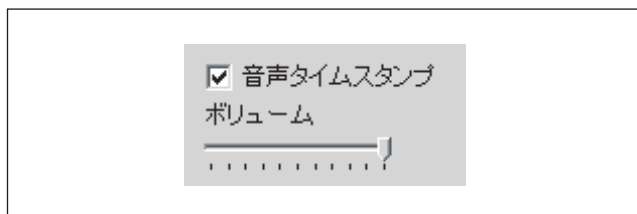
(4) ボリューム

スピーカ、イヤホン、音声出力ジャック、ラインアウトジャック（後面）の音量を調節します。

- ・スピーカとイヤホンの音量は、本装置前面の音量つまみでも調節できますが、画面のボリュームで調節した範囲内での調節になります。
- ・音声出力ジャック、ラインアウトジャック（後面）の音量は、本装置前面の音量つまみでは調節できません

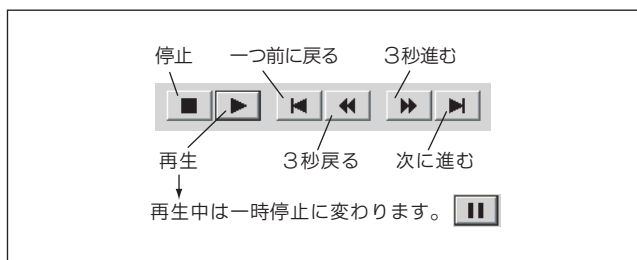
(5) 音声タイムスタンプ

チェックを付けると、録音内容の再生の前に音声で録音時刻を案内します。また、チェックを付けるとタイムスタンプ専用のボリュームを表示します。



(6) 操作ボタン

再生、停止などの操作をします。[再生] ボタンは、再生中には[一時停止] ボタンに変わります。



(7) ダビング

「ダビング制御A出力」、「ダビング制御B出力」（外部のダビング用機器を制御するリレー接点）を使用するとき、チェックを付けます。

ダビング用接点出力の設定に関しては取扱説明書「システム設定 6 その他 ■ダビング用接点出力」(P.34) をご参照ください。

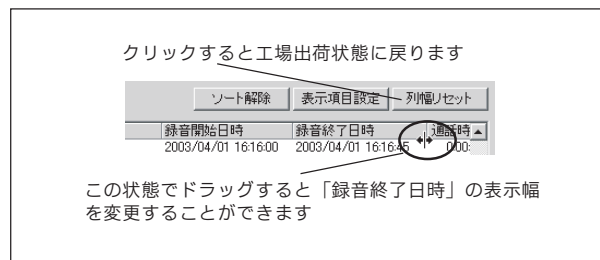
(8) 再生範囲指定

録音の一部を再生するとき、開始と終了の位置を、「開始」「終了」をドラッグして指定します。再生中に変更することはできません。停止中か一時停止中に操作してください。

(9) 列幅リセット

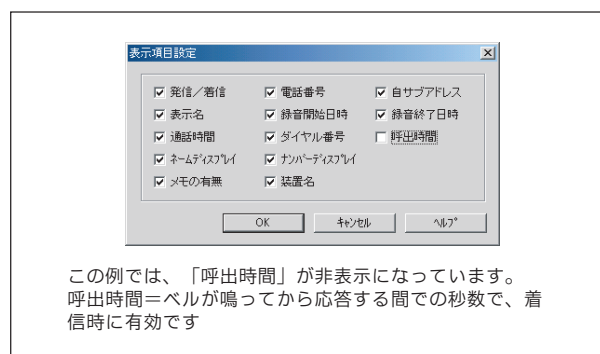
マウスポインタを表示項目名の境界へ移動すると、ポインタの形が「☞」から「☞♦」に変わります。その状態でドラッグすると、項目の表示幅を変更することができます。

項目の表示幅を変更したときに、[列幅リセット] ボタンをクリックして工場出荷状態に戻すことができます。



(10) 表示項目設定

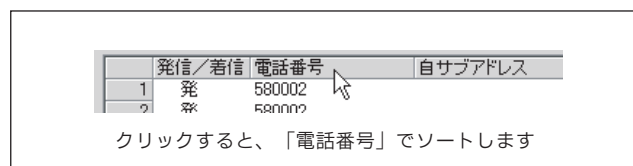
一覧表に表示する項目を選択することができます。



- ① [表示項目設定] ボタンをクリックすると「表示項目設定」の画面が開きます。
- ② 表示する項目はチェックを付け、表示が必要でない項目はチェックをはずします。
- ③ 設定後、[OK] ボタンをクリックします。

(11) ソート（並べ替え）

タイトル行の項目名をクリックすると、その項目でソート（並べ替え）をします。もう一度クリックすると逆順でソートします。



[ソート解除] ボタンをクリックすると、最初の状態に戻ります。

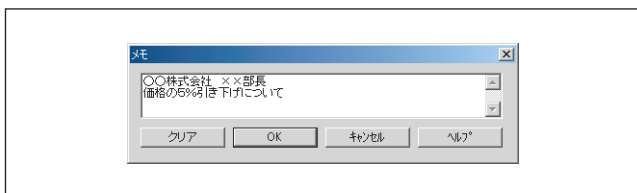
(12) データ保存

検索結果をCSV形式で保存します。この操作では、検索結果の一覧が保存されるだけで録音内容は保存されません。

(13) メモ

選択した録音ファイルにメモを付けることができます。

- ① [メモ] ボタンをクリックするとメモボックスが開きます。
- ② メモを書き込み [OK] ボタンをクリックします。
 - ・全角（2バイト文字）で64文字まで書き込めます。
 - ・表示項目の「メモの有無」欄に「あり」と表示されます。
 - ・すでに書き込んであるメモを表示するときもこのボタンをクリックします。



(14) コピー

選択した録音ファイルを DVD-RAM などにコピーします。

- ① 録音ファイルを選択し [コピー] ボタンをクリックすると「ファイルのコピー」画面が開きます。
- ② [▼] ボタンをクリックしてコピー先のドライブを選択します。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。
 - ・バックアップ用の DVD-RAM ディスクはバックアップ専用で、この方法でコピーすることはできません。



(15) 削除

選択した録音ファイルを削除（消去）します。

- ① 録音ファイルを選択し [削除] ボタンをクリックすると、削除を確認する画面が開きます。
- ② [はい] ボタンをクリックすると該当の録音を削除します。
 - ・削除した録音は元に戻すことができません。ご注意ください。

ワンポイント

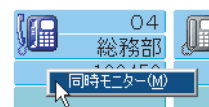
セキュリティを設定している場合、「録音消去」の操作ができない ID でログインすると、録音ファイルを削除する操作はできません。取扱説明書「セキュリティ」(P.35)をご参照ください。

4 同時モニター

録音中の通話をリアルタイムでモニターすることができます。

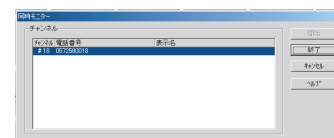
1

- ① 同時モニターをしたいチャンネルにマウスカーソルを移動し、右クリックします。
- ② メニューが表示されますので、[同時モニター] をクリックします。
 - ・パスワードが設定されているときは、パスワード画面が開きます。ID とパスワードを入力します。



2

- ・同時モニターが始まります。
- ・モニターしているチャンネルの情報を表示するボックスが表示されます。
- ・音量は、本体前面の「音量つまみ」で調節することができます。
- ・終わるときは、[終了] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- ・録音中でないチャンネルを同時モニターしようとする
と、メッセージが出て、中止します。
- ・録音をしない設定になっている番号の通話は、同時モニターはできません。

バックアップ

1 バックアップ概要

通話の録音は本装置内のハードディスクに保存されます。ハードディスク一杯に録音すると古い録音から順に消去して新しい録音を保存します。

通話の録音をDVD-RAMディスクにバックアップ（コピー保存）することができます。方法は「定時」、「間隔」、「手動」の3種類あります。取扱説明書「設定編 システム設定 3 バックアップ」(P.31) をご参照ください。

ハードディスク上の録音は、ハードディスクを使い切るとバックアップされていなくても消去されます。DVD-RAMが一杯になった状態を長期間続けないうご注意ください。

「再生」、「メディア」、「システム」の画面を開いているときは、指定時刻になってもバックアップができません。

バックアップ後のDVD-RAMディスクは書き込み禁止にしておくと不用意に消去することがありません。

2 DVD-RAM

■ DVD-RAM ディスク

●ディスクの種類

本装置に添付のDVD-RAMディスク（松下電器産業株式会社製）または同等品をご使用ください。

片面タイプ：容量 4.7GB のカートリッジタイプ

- ・ カートリッジタイプでないものは使用できません。カートリッジから取り出し可能なものでも取り出さず、カートリッジに入れたままでご使用ください。
- ・ 保存期間を指定すると、その期間に再利用しようとするアラームを出すことができます。詳細は取扱説明書「設定編 システム設定 4 アラーム」(P.32)をご参照ください。
- ・ 「使用方法」に関しては、取扱説明書「設定編 システム設定 3 バックアップ」(P.31) をご参照ください。

■ DVD-RAM ドライブ

●ランプ表示

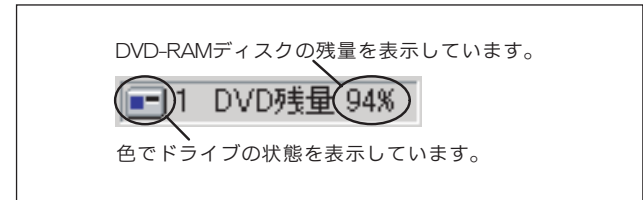
下表のようにDVD-RAMドライブの状態をランプで表示します。

DVDドライブの状態とランプ表示

| 表示 | 状態 |
|-------|---------|
| 消灯 | 待機中／未装着 |
| 点灯／点滅 | 動作中 |

- ・ 動作中（ランプが点灯または点滅中）はDVD-RAMディスクを取り出さないでください。故障の原因になります。
- ・ 本体の［イジェクト］ボタンを押してもトレイがでてこないときは、しばらくしてもう一度［イジェクト］ボタンを押してください。

●画面の表示



| 色 | 使用方法 | | | |
|---|------|--------|------|-------|
| | シングル | ミラーリング | 順次 | エンドレス |
| 青 | 使用中 | 使用中 | 使用中 | 使用中 |
| 黒 | --- | --- | 待機中 | 待機中 |
| 灰 | 使わない | 使わない | 使わない | 使わない |

●クリーニング

- ・ DVD-RAMドライブのレンズやDVD-RAMディスクが汚れると、録音時間が短くなったり、録音できなくなります。定期的に（少なくとも4ヶ月に一度）クリーニングを行ってください。
- ・ クリーニングはDVD-RAMドライブが待機中に行うことができます。クリーニング中はバックアップができません。
- ・ クリーニングの方法は、「DVD-RAM レンズクリーナー」の取扱説明書をご参照ください。指定以外のものをお使いになると、レンズやディスクに傷がついて、録音や再生ができなくなる場合があります。
- ・ 毎月、クリーニングのご案内を基本画面に表示することができます。取扱説明書「設定編 システム設定 3 バックアップ」(P.31) をご参照ください。

■ バックアップ用 DVD-RAM の作成

バックアップ用としてお使いになる前に、必ずメディア作成をしてください。

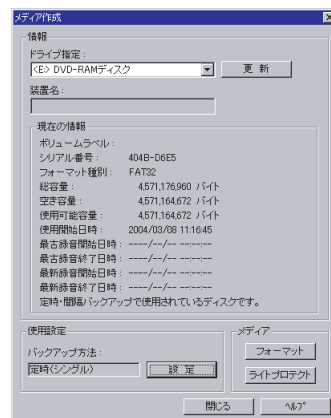
1

- メニューバーを「メディア」→「メディア作成」の順にクリックします。
- ・パスワードを設定しているときは、パスワード画面が開きます。あらかじめ登録したパスワードを入力します。

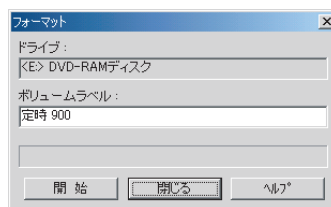


2

- ① メディア作成画面が開きます。
- ② DVD-RAM ドライブの [イジェクト] ボタンを操作し、メディア作成をする DVD-RAM ディスクをドライブに入れます。
 - ・ドライブのランプが点滅します。
- ③ ドライブのランプが消灯したら、メディア作成画面の [フォーマット] ボタンをクリックします。
 - ・デュアルドライブの場合は、ドライブ指定の [▼] ボタンをクリックして、メディア作成するドライブを指定します。

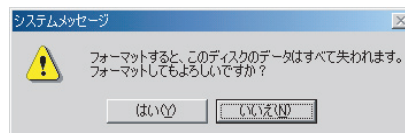


- ① フォーマット画面が開きます。
- ② 必要であればボリュームラベルを入力します。
 - ・例えば、「定時 900」など、ディスクの覚えに利用できます。
 - ・全角の場合は5文字、半角は11文字まで入力できます。
 - ・ボリュームラベルには、次の文字(16種類)を使用することができません。いずれも半角文字です。



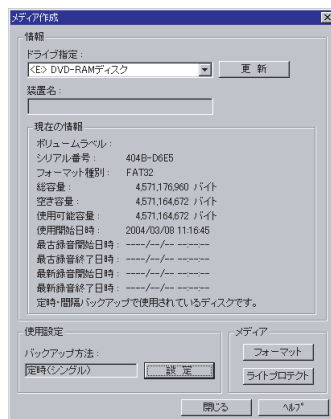
3

- ③ [開始] ボタンをクリックします。
- ④ ディスクの内容が消去される警告画面が出ます。[はい] ボタンをクリックします。
- ⑤ フォーマットが開始され、下段に進行状況が表示されます。
- ⑥ フォーマットが終わると案内メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑦ フォーマット画面の [閉じる] ボタンをクリックします。



4

- ① メディア作成画面の [設定] ボタンをクリックします。
 - ・取扱説明書「設定編 システム設定 3 バックアップ」で設定したバックアップ方法に設定されます。31 ページをご参照ください。
- ② バックアップ用に設定したことを案内する画面が表示されます。
- ③ 案内画面の [OK] ボタンをクリックします。
- ④ メディア作成画面の [閉じる] ボタンをクリックします。

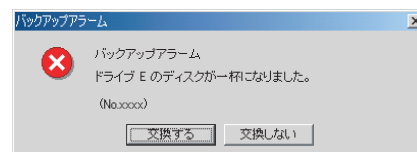


■ ディスクの交換

ディスクを使い切ると案内の画面が表示されます。DVD-RAM ディスクを交換します。

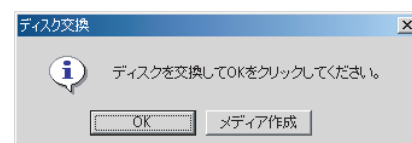
1

- ① ディスクを使い切った案内が表示されます。
- ② [交換する] ボタンをクリックします。
 - ・ パスワードを設定しているときは、パスワード画面が開きます。あらかじめ登録したパスワードを入力します。



2

- ① ディスク交換の画面が表示されます。
 - メディア作成をしたディスクがあるとき：
 - (A) 使用中のディスクを取り出します。
 - (B) メディア作成をした新しいディスクを入れて、[OK] ボタンをクリックします。
 - メディア作成をしたディスクがないとき：
 - (A) 使用中のディスクを取り出します。
 - (B) 新しいディスクを入れて、[メディア作成] ボタンをクリックします。
 - (C) 以下は、前ページの「■バックアップ用DVD-RAMの作成」をご覧ください。
 - (D) メディア作成が終わったら、ディスク交換画面の [OK] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- ディスク交換の案内が表示されていなくてもディスクを交換することができます。使用中のディスクを取り出し、メディア作成をした新しいディスクを挿入します。
- ディスクを使い切った案内が出たら、できるだけ早くディスクを交換してください。本装置のハードディスクを使い切ると、バックアップがされていなくても古い録音から順に消去し、新しい録音を記録します。

■ ドライブ情報の表示

DVD-RAM やハードディスクの使用状況を表示します。

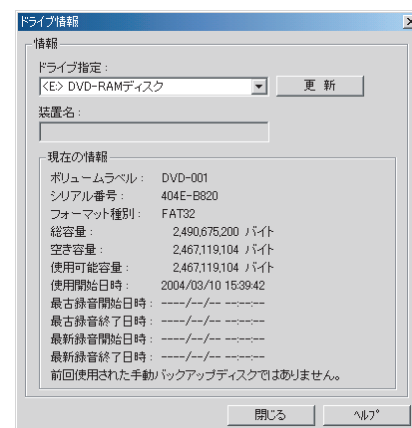
1

- ① メニューバーを「メディア」→「ドライブ情報」の順にクリックします。



2

- ① ドライブ情報の画面が表示されます。
- ② [▼] ボタンをクリックし、情報を表示させたいドライブを選択します。
- ③ [閉じる] ボタンをクリックすると画面が閉じます。



3 手動バックアップ

定時または間隔のバックアップとは別に、通話を選択してバックアップすることができます。手動でバックアップするときは、あらかじめ次の操作をしておきます。

1. バックアップ方法を、手動バックアップに設定します。
 - ・取扱説明書「設定編 システム設定 3 バックアップ」(P.31)をご覧ください。
2. 手動バックアップに使用するディスクを、フォーマットおよび使用設定をします。
 - ・「バックアップ 2 DVD-RAM ■バックアップ用DVD-RAMの作成」(P.10)をご覧ください。

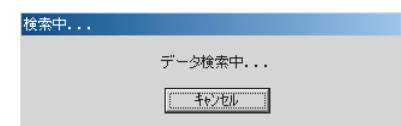
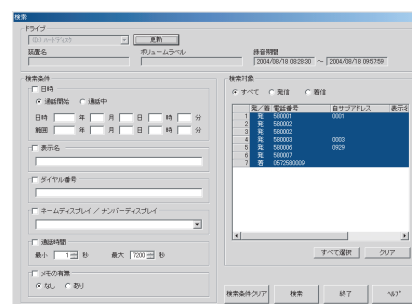
1

- ① メニューバーを [メディア] → [手動バックアップ] の順にクリックします。
 - ・パスワードを設定しているときは、パスワード画面が開きます。あらかじめ登録してあるIDとパスワードを入れ [OK] ボタンをクリックします。



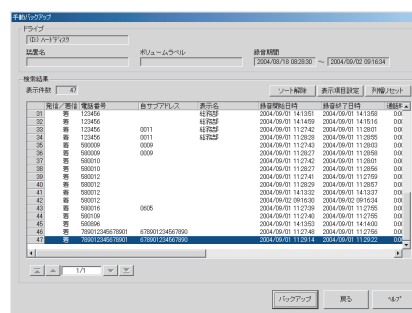
2

- ① 「検索」画面が開きます。
- ② 検索条件を指定します。指定方法は「検索・再生 2-2 検索条件の設定」(P.4) と同じです。
- ③ [検索] ボタンを押します。
 - ・「データ検索中...」とコメントが表示されます。
 - ・[キャンセル] ボタンをクリックすると、検索を中止し途中までの検索結果を表示します。
 - ・手動バックアップ画面が開き、検索結果が表示されます。



3

- ① [バックアップ] をクリックするとバックアップが始まります。
 - ・基本画面に戻ってステータスバーに「バックアップ中」と表示されます。
 - ・[戻る] をクリックすると手順2に戻ります。



4 ファイルの修復

検索用のインデックス（見出し）を修復します。この作業は、「システム登録」ができる「権限」を持った方しか行えません。取扱説明書「設定編 セキュリティ」（P.35）をご参照ください。

ハードディスクを修復中は、通話録音やバックアップができません。また、DVD-RAM ディスクを修復中は、バックアップができません。

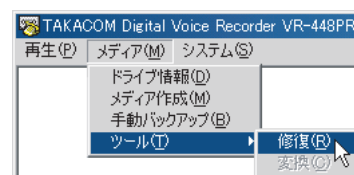
■修復方法

インデックスが壊れたファイルの修復をします。

1

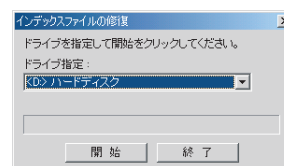
メニューバーから [メディア (M)] → [ツール (T)] → [修復 (R)] を選びます。

- ・パスワードを設定しているときは、パスワード画面が開きます。あらかじめ登録してある ID とパスワードを入れ [OK] ボタンをクリックします。



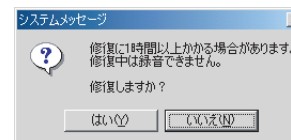
2

壊れたファイルがあるドライブを「ドライブ指定」欄で指定し、[開始] ボタンをクリックします。



3

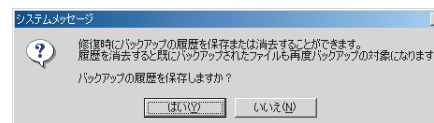
修復を開始してよいときは、[はい] をクリックします。



4

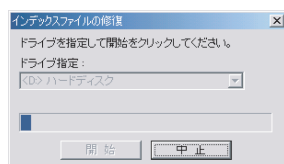
バックアップの履歴を保存する／しないを選択する画面が開きます。[はい] または [いいえ] ボタンをクリックします。

- ・[はい] をクリックすると、バックアップの履歴はそのまま残ります。次のバックアップ時には、直前のバックアップ以降のファイルが対象になります。
- ・[いいえ] をクリックすると、バックアップの履歴は保存されず消去されます。次のバックアップ時には、全てのファイルが対象になります。それ以後は、通常通り前回バックアップ以降のファイルが対象になります。

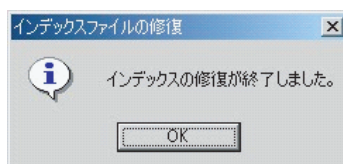


修復が始まります。

- ・修復には1時間以上かかることがあります。
- ・修復中は通話録音ができません。
- ・フロッピーディスクやDVD-RAM ディスクを修復するときは、対象のディスクを抜かないでください。



修復中の画面



修復が完了しました。[OK] ボタンをクリックします。

ワンポイント

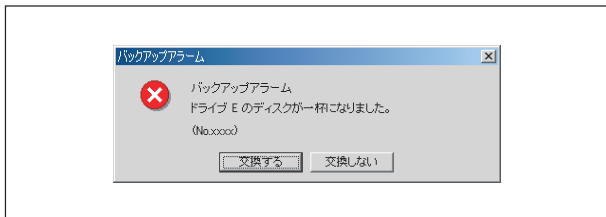
- 修復に要するおおよその時間は；
ハードディスク：
20 万件の録音で約 4 時間
DVD-RAM ディスク：
4 万件の録音で約 6 時間

5 アラーム表示

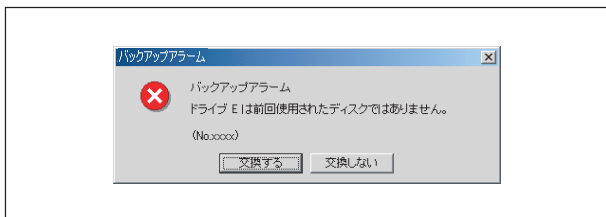
バックアップ時刻になると、DVD-RAMディスクの状態によって、アラーム表示になります。それぞれの手順に従って、操作してください。

■アラーム表示

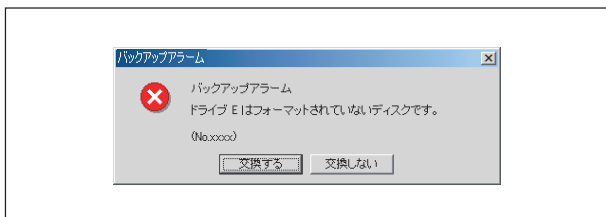
① バックアップ中に、ディスクを使い切ると表示されます。



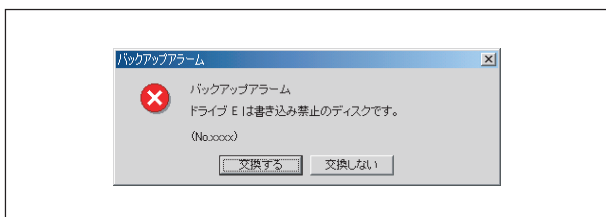
② バックアップのとき、前回と異なった「DVD-RAM ディスク」が検出されると表示されます。



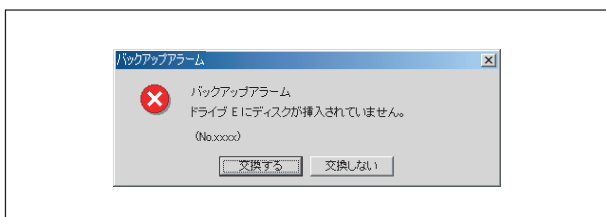
③ バックアップのとき、未フォーマットディスクが検出されると表示されます。



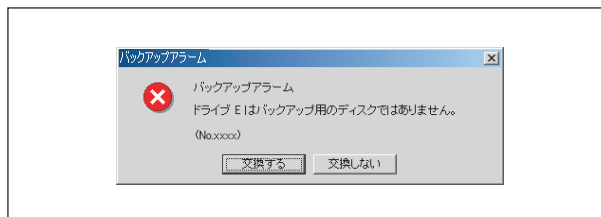
④ バックアップのときライトプロテクトされたディスクが検出されたとき表示されます。



⑤ バックアップ開始時に、ディスクが未挿入であると表示されます。

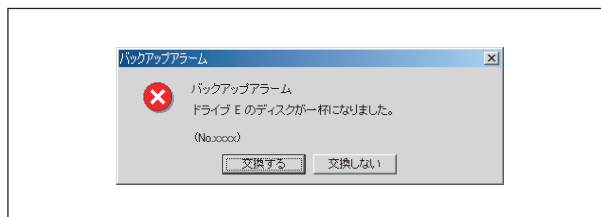


⑥ バックアップのとき、バックアップ用に設定されていないディスクが検出されると表示されます。

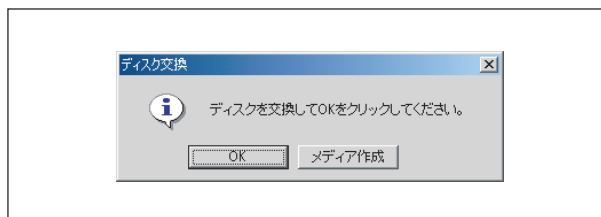


■アラーム解除の方法

① [交換する] ボタンをクリックします。



- ・パスワードが設定されているときは、ID とパスワードを入力してください。
- ・アラームが解除されます。
- ・ディスク交換画面が開きます。



② DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押します。トレイが出たら、新しいディスクと交換します。

③ DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押し、トレイを格納します。

- ・ドライブのランプが点滅します。

④ ドライブのランプが消灯したら、[OK] ボタンをクリックするか、フォーマットが必要なときは、[メディア作成] ボタンをクリックします。

※ [交換しない] ボタンをクリックしたとき

- ・パスワードが設定されているときは、ID とパスワードを入力します。
- ・アラームは解除され、バックアップを中止します。
- ・今回バックアップできなかった通話は、次のバックアップのときに行われます。

■お問い合わせ先一覧

| 支店／営業所名 | 住所、電話番号 | 担当地区 |
|---------|--|----------|
| 東京支店 | 〒 103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2-9-8 (日本橋 MS ビル) 電話：03-5651-2281 | 関東、甲信越 |
| 札幌出張所 | 〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 (オーク札幌ビル) 電話：011-271-0225 | 北海道 |
| 仙台出張所 | 〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 1 丁目 6-10 (仙台北辰ビル SEED21) 電話：022-726-7300 | 東北地区 |
| 名古屋営業所 | 〒 461-8655 名古屋市東区徳川 1-8-48 電話：052-937-8822 | 東海、北陸地区 |
| 大阪営業所 | 〒 542-0081 大阪市中央区南船場 2-5-23 (自重堂ビル) 電話：06-6260-4611 | 近畿地区 |
| 広島営業所 | 〒 733-0021 広島市西区上天満町 3-19 (第 2 横山ビル) 電話：082-291-6400 | 中国、四国地区 |
| 福岡営業所 | 〒 812-0042 福岡市博多区豊 1-3-14 (佐藤ビル) 電話：092-431-1942 | 九州地区、沖縄県 |